

平成22年1月18日

平成20年度 金沢大学の動物実験等の実施状況に関する点検及び評価について

金沢大学では、動物実験委員会において平成20年度の本学における動物実験等の実施状況などについて点検・評価を行いました。その結果、全体的には概ね「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」(文部科学省告示第七十一号。以下「基本指針」という)に適合していましたが、一部に改善の余地が認められたところです。それらについては具体的な改善の方針を立てた上で、今後もさらなる動物実験の適正化に向けて取り組んでまいります。

なお、点検の項目及びその評価、また浮かび上がった主な課題とその改善の方針は以下のとおりです。

【Ⅰ. 規程及び体制等の整備状況について】

1. 学内規程について

動物実験等に関する学内の諸規程は基本指針に適合して策定されている。

2. 動物実験委員会について

動物実験委員会は基本指針に示された有識者により構成して設置されており、必要な業務を実施している。

3. 動物実験の実施体制について

動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制は、基本指針に適合して整備されている。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制について

安全管理に注意を要する動物実験(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験、物理的・化学的に危険な動物実験、飼育環境の保全等)の実施体制は、基本指針に適合して整備されている。

5. 実験動物の飼養保管の体制について

実験動物の飼育保管体制は適正に整備されているが、今後は、飼養保管施設・施設外実験室の設置状況を正確に把握するため、毎年度末の飼養保管施設・施設外実験室の設置状況の確認及び新規採用者による新たな飼養保管施設、施設外実験室の設置申請手続きの実施について、学内への周知徹底を図っていく必要がある。

【Ⅱ. 実施状況について】

1. 動物実験委員会について

動物実験委員会は、学内の諸規程に定められた機能を果たしている。

2. 動物実験の実施状況について

動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告は、概ね適正に実施されているが、「動物実験実施報告書」については、未提出の実験計画が10件あった。そのため、「動物実験実施報告書」が未提出の実験計画の研究室主宰者に対し、実験計画の次年度への継続の有無を照会の上、「動物実験計画書」もしくは「動物実験実施報告書」を提出するよう指導を徹底する必要がある。なお、実験責任者の転出等のため、やむを得ず「動物実験実施報告書」が提出できない場合は、代替措置として、新たなフ

フォーマットを用意し、研究室主宰者から、当該動物実験の実施状況が分かる書類を提出させることとする。

3．安全管理を要する動物実験の実施状況について

遺伝子組換え動物実験，感染動物実験，物理的・化学的に危険な動物実験等は，安全・適切に実施されている。

4．実験動物の飼養保管状況について

実験動物の飼養保管は，飼養保管手順書等により適正に行われている。

5．施設等の維持管理の状況について

飼養保管施設は適正に維持管理されている。

6．教育訓練の実施状況について

学際科学実験センター実験動物研究施設が行う「金沢大学動物実験基礎講習」を全学の教育訓練と位置付けているが、必ずしも全学の教育訓練と認識されていない面もみられる。そのため、平成22年初めに予定されている実験動物研究施設の角間分室設置に合わせて、平成22年度から、教育訓練実施に係る学内への通知方法等を見直して位置付けを明確にするとともに、実施場所についても、角間地区該当者にも配慮して決定する必要がある。

平成20年度 動物実験等に関する状況

【動物実験計画の申請・審査、届出状況】

申請:292 課題, 310 計画

・承認:285 件(初年度計画 89 件(修正承認による失効 4 件含む))

・取下:12 件(継続計画 4 件 / 新規計画 8 件)

・次年度繰越:7 件

・不受理:4 件

・予備審査 / 委員会によるコメント件数:154 課題(修正等依頼 201 回, 督促等 57 回)

届出:9 件(カエル 1 件 / 魚類 8 件)

部局別計画件数 (承認計画 281 件中)

- ・人間社会研究域:8
- ・理工研究域:0
- ・医薬保健研究域:215 (医学系:156 (基礎:43 / 臨床:113), 保健学系:32, 薬学系:27)
- ・がん研究所:30
- ・学際科学実験センター:14
- ・環日本海域環境研究センター:3
- ・保健管理センター:4
- ・フロンティアサイエンス機構:7

飼養保管施設別計画件数

- ・学際セ・実験動物研究施設:234 (単独:170 / 併用:64)
(併用施設) 薬学部動物室:12, RI 動物室:23, 医学部動物室:26,
看護科学領域動物飼育室:3, 眼科学動物室:1, 遺伝子研究施設感染動物室:1
- ・学際セ・アイソトープ総合研究施設動物室:24
- ・学際セ・遺伝子研究施設感染動物室:4
- ・部局共用 薬学部動物室:20
医学部動物室:29
看護科学領域動物飼育室:6
- ・研究室専用 眼科学教室動物室:3
心理学動物飼育室:6
人間適応制御動物飼育実験室:2
保健実験動物飼育室:2
理学療法学動物室(専攻内共用):単独 13/RI 動物室併用 1
麻酔蘇生学動物室:1
- ・飼養保管施設を使用しない計画:3

動物種別計画件数 (承認計画 281 件中)

- ・マウス:158
- ・ラット:91
- ・ウサギ:20
- ・モルモット:2

- ・スナネズミ：1
- ・イヌ：3
- ・ブタ：4
- ・サル：2

安全管理を要した実験（複数事項が含まれる計画書があるため、合計は 281 件にはならない）

- ・P1A：97
- ・P2A：10
- ・BSL-1：2
- ・BSL-2：3
- ・有害物質投与：21
- ・ヒト材料取扱い：4
- ・X線照射/撮影：25
- ・ラジオアイソトープ投与：27
- ・麻薬等取扱い：20
- ・物理的に危険な実験（ギロチンの使用）：6
- ・以上の該当無し：113

【飼養保管施設・実験室の設置状況（平成 20 年度末時点）】

- ・飼養保管施設：13
- ・魚類または両生類のみを飼養する飼養保管施設：5
- ・飼養保管施設外実験室：34

【教育訓練について】

- ・講習名称：実験動物研究施設新規利用者講習（金沢大学動物実験基礎講習）
- ・講習時間：2 時間 20 分，講師：学際科学実験センター・准教授，助教
- ・講習内容：動物実験関連法規制解説および動物実験概論 80 分，学内手続・基本作業解説 60 分
- ・受講者数：9 回開催（春期 3 回，臨時 6 回），合計 225 名